



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／小野 仁
- 副会長／宮坂宥澄・佐藤有司
- 幹事／山岸邦太郎
- 会報・雑誌・広報委員長／林 尚孝

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F
Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939・URL:<http://okayarc.org>・E-mail:okayarc@amber.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2551 回例会 2011 年（平成 23 年）12 月 20 日（火）

点 鐘：小野 仁 司 会：中畑隆一
齊 唱：それこそロータリー ラッキーNo.：No.21 中嶋孝一

会長挨拶

今年最後の例会となりました。皆様のご協力とご支援で半年間どうにか努めさせていただき、厚く御礼申し上げます。

次に皆様とお会い出来るのは、来年 10 日の新年会です。どうぞ風邪などひかぬよう、ご家族の皆様お揃いで良いお正月をお迎え下さい。

幹事報告

- ・12/27・1/3 は指定休日となります。
- ・1月のロータリーレートは1\$78円です。
- ・2/14 は岡谷エコロータリークラブとの合同夜間例会となりますが、当日はガバナ補佐、IM 実行員長が訪問されます。よろしくお願いします。

委員会報告

親睦委員会 先週の親睦忘年会には大勢の方にご参加いただき、無事終了しました。ありがとうございました。

社会奉仕委員会 毎年行っています「書損じハガキ回収」を1/10より受付にて行います。ご協力よろしくお願いします。

寄付金贈呈

社会奉仕委員会より
岡谷市ふるさとまちづくり基金へ寄付金贈呈





卓話「岡谷市政について」

岡谷市 市長
今井 竜五様

早いもので今年もあと僅かとなりました。今年はなんと言っても東日本大震災が発災、今年の日本を象徴していると思います。被災地では現在でも復興へ懸命の努力がなされています。一方では昨日、北朝鮮の金正日総書記の死去です。これも年末に世界を激震させた一つだと思います。

そしてロータリーの皆さんには日頃より岡谷市政の推進に対しまして、大変なご理解、ご協力をいただきます事に心から感謝申し上げます。

また、夫々の立場で地域の産業振興へのご尽力をいただいております事に心より敬意を表する次第でございます。

本日は岡谷市政の重要課題の中から新病院建設、新消防庁舎の建設、湖周ゴミ処理施設の整備を中心にお話しさせていただきます。

【新病院建設】

新病院の建設として、今回の震災を見ましても病院そのものが大きな被害を受けました。病院機能が失われている事を目の当たりにしまして、災害に強い備えが必要と言う事で、堅牢な建物や災害時医療の拠点として応えられる病院の必要性は以前にも増して高まっていると思います。

岡谷市新病院建設基本設計業務中間報告

(1) 基本理念・基本方針 …岡谷市新病院建設基本構想（以下「基本構想」という。）から抜粋

岡谷市民病院では、平成22年7月に「思いやり」を大切に医療の実践を基本とする理念・基本方針を定めました。今後、新病院の建設、運営においてもこの考え方にに基づき実施してまいります。

①基本理念

岡谷市民病院は、「思いやり」を基本理念とし、心温まる患者サービスを提供し、地域の人々に信頼され親しまれる病院をめざします。

②基本方針

- 1 私たちは、患者さんの権利と尊厳、またご家族の意思を尊重する医療を実践し、安心と満足を提供します。
- 2 私たちは、患者さんにわかりやすいことばで説明し、同意を得たうえで適切な医療を提供します。
- 3 私たちは、医療倫理を守り真摯な態度で医療制度に即した医療を提供し、信頼される病院をめざします。
- 4 私たちは、研究・教育・研修により医療技術の研鑽に励み、高度で良質な医療を提供し、地域住民の健康を守ります。
- 5 私たちは、地域の医療機関と連携を図り、地域医療水準の向上に努めます。
- 6 私たちは、病院経営の健全化に努め、働きがいのある病院環境を築いていきます。

(2) 整備方針

整備に際しては、基本構想に掲げた4つの基本方針を踏まえ、より具体的な考え方として、以下のとおり整備方針を定め、この考え方を念頭に作業を進めます。

基本構想に掲げた整備の基本方針

- (1) 患者中心の建築計画
- (2) 機能的で働きやすい建築計画
- (3) 災害に強い建築計画
- (4) 経済性を考慮した建築計画

整備方針	具体的な取り組み事項
1. 岡谷市のまちづくりに貢献する	<ul style="list-style-type: none"> ○安心感のシンボルとして市民の誇りとなる外観を持つ ○利用者がアクセスしやすい入り口や駐車場の整備に努める ○災害時の活用を考慮した駐車場や広場、災害備蓄庫の計画を行う ○災害医療の拠点としての機能を高めるため、免震構造を採用し、地震対策の強化を図る
2. 「救急」、「連携」、「安全・安心」を市民病院の「3本柱」とする	<ul style="list-style-type: none"> ○「救急」体制の強化につながる施設、設備を整備する ○「連携」の充実強化を図るため、地域医療連携、医療福祉相談、在宅支援の機能を集約した整備を行う ○災害・医療安全・院内感染防止に備え、「安全・安心」に考慮した施設の整備を行う
3. 特徴的な医療分野を持ち、市民や職員にとって誇りに思える病院をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ○「糖尿病センター」、「循環器センター」及び「呼吸器センター」に係る専門的な医療を維持するための施設整備を行う ○「がん医療」に係る支援病院として、内視鏡を中心とした消化器病治療機能の集約化を図る。また、在宅医療支援を強化するため、初期からの緩和ケアを行う「緩和ケア病棟」と「外来化学療法室」の整備を行う ○産科・小児科医療については、市内の医療機関の要として、機能的かつ魅力的な環境を備えた診療施設の整備を行う
4. 高齢社会に向けて健康寿命を伸ばす医療を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ○回復期リハビリテーション病棟を含めたりハビリ施設の整備を行う ○健診センターは、予防医療の要としての健診事業を担うことから、施設、設備の一層の充実を計り、併せて健康教室や講演会などの「健康」事業の拡大を図る ○慢性疾患による長期療養を担うため、医療型療養病床の整備を行う
5. 将来の社会情勢や医療需要の変化に効率よく対応できる建物とする	<ul style="list-style-type: none"> ○患者の状況に応じて、柔軟な運営が出来る病棟を計画する ○得来の増築や、日常的な改変に柔軟に対応出来る構造・設備システムを採用する ○災害に対して安全で堅牢な構造仕様と設備システムを持つ ○省エネルギーと自然エネルギーの活用など、ライフサイクルコストの低減を目指した施設計画とする
6. 機能的で働きやすく、快適な建物とする	<ul style="list-style-type: none"> ○アメニティに配慮した診療、療養環境の整備を図る ○部門間の連携、患者動線とスタッフ動線に配慮した部門配置とする ○院内物流管理システムが有効に機能するよう、効率的な搬送システムを計画する ○情報システムの導入及び拡張が容易な構造、設備を計画する ○職員のモチベーションが維持出来る、快適な職場環境を整備する

(3) 敷地計画案

■基本的な考え

新病院の敷地は複数の道路に接していますが、新病院と駐車場、近隣住宅、工場などの交通安全の確保を優先に計画しました。

■道路計画

・新病院の駐車場は既存の病院敷地に配置しますが、駐車場から新病院までの歩行者動線の安全確保のために、敷地を分断している市道の一部廃道を計画しています。(図示①) 廃道部分の機能は現北棟棟の位置に新しい市道を開設することで回復し、図書館北側の住宅、工場はこの市道を利用します。(図示②) また、この新設道路と接続する市道114号線の拡幅を、新病院建設事業と併せて計画しています。(図示③)

(拡幅範囲：市役所～下諏訪辰野線交差点)

・新病院の南側にある道路は市有地を分断している形状であるため、一体的な利用を行うため、道路を南側に移設するよう計画しています(図示④)

・新病院西側の市道岡谷380号線(図示⑤)については、新病院の救急動線、サービス車両動線と重なるため、車両の通り抜けは危険であり、構内の安全確保のため車両の進入禁止を計画しています。

(4) 機能・規模

①診療科目(岡谷市新病院建設基本構想に掲げた現状の診療科+新たな診療科1科)

内科、心療内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、腎臓内科、感染症内科、疼痛緩和内科、内分泌・代謝内科、肝臓内科、人工透析内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、消化器外科、胸部外科、乳腺・内分泌外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、リハビリテーション科、病理診断科、麻酔科、

歯科(※入院患者向けに新規検討中)

②病床種別・病床数

病床種別	病棟単位	病床数
一般病床 (感染症病床)	一般病棟 (感染症)	200床 (4床)
	回復期リハビリ病棟	45床
	緩和ケア病棟	17床
	ICU・CCU	8床
療養病床	療養病棟	25床
計		295床

③断面イメージ(階層別構成)

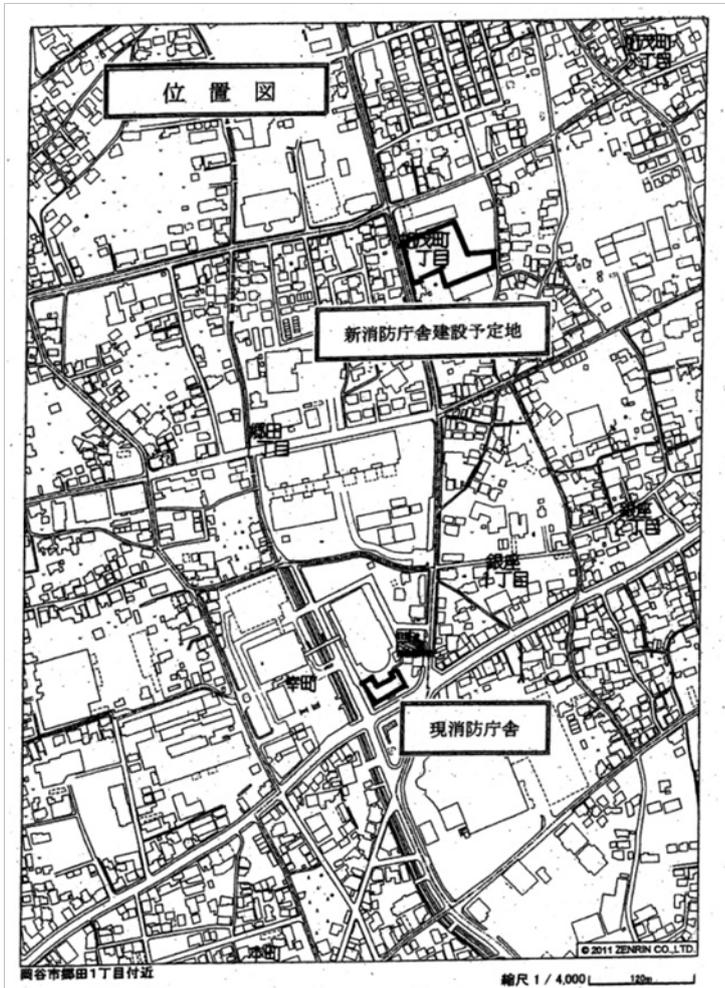
ボーリングによる地盤調査の結果、地階を設けることが可能であると検証されました。

・支持地盤に直接基礎工事を行えるため、杭工事費を削減できます。

・地上の高さを抑えることで近隣への影響を軽減でき、1、2階を診療部門として有効に活用できます。

階層	機能
6階	病棟(一般病棟、緩和ケア病棟、療養病棟)
5階	病棟(回復期リハビリ病棟、一般病棟)
4階	病棟(一般病棟、感染症病床)
3階	手術室・心カテ室、中央材料室、ME室 病理診断科、ICU・CCU、医務、事務
2階	外来、血液透析室、リハビリ、健診センター 地域医療連携(福祉相談、訪問看護、在宅介護)
1階	外来、救急室、放射線科、内視鏡室 検査科(生理検査)、薬剤科、医事課、売店・食堂
地階	栄養科、検査科(検体検査)、薬剤科 検体室、薬安室、倉庫、SPD、更衣室、放射線科

【新消防庁舎建設】



【湖周ゴミ処理施設整備】

湖周地区ごみ処理施設整備事業

◆ 計画しているごみ処理施設の概要

項目	内容
事業主体	湖周行政事務組合(岡谷市、諏訪市、下諏訪町の2市1町で構成)
整備する場所	岡谷市清瀬工場敷地(現施設は建設時までに解体撤去となる) 住所: 長野県岡谷市宇内山4769番地の14 敷地面積: 約20,000㎡
処理対象物	一般廃棄物の可燃ごみ、緑屑、資源物等(大規模可燃ごみ)
施設規模	120 t/日(2系列、60 t/24h x 2P)
処理方式	全焼却施設(運転台数は年間200台) 以下に示す4つの方式により平成23年度内に決定 ① 焼却(ストー方式) ② 焼却(ストー方式)+反溶融 ③ ガス化溶融 ④ 炭化

◆ 施設建設に係るスケジュールの概略

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
処理方式の検討	■	■	■	■	■	■
環境影響評価	■	■	■	■	■	■
建設費算出等	■	■	■	■	■	■
発注仕様書作成等	■	■	■	■	■	■
敷地取得等工事	■	■	■	■	■	■
設計・建設工事	■	■	■	■	■	■
長期開始(目標)	■	■	■	■	■	■

◆ 処理方式の選定

処理方式	処理の概要	特徴
ストー方式	土まわりと空気流の中で、着火のための熱を加えて、ごみを燃やします。ごみを燃焼方式として大規模に出ています。燃やさないものが灰として残ります。(岡谷市の現施設はこの方式)	・燃焼効率が高くて、経済的な燃焼方式が選ばれる。 ・燃やさないものが灰として残ります。燃やさないものが灰として残ります。
ストー+反溶融方式	焼却で発生した灰を溶融で溶かし、スラグといわれる粉状のものにして、資源として使えるようにします。	・灰を溶融することで埋立処分量を減らすことができます。 ・溶融するための多量の燃料が必要。 ・溶融してできるスラグの資源化が可能。 ・有効利用されていないケースがある。
ガス化溶融方式	燃料と比べて空気の量を少なく、温度を高くすることで、ごみを燃やして燃やさない状態のガスと未燃分及び灰に燃分します。未燃分や灰は溶融で溶かしスラグを資源として使えるようになります。	・燃焼効率が高くて、経済的な燃焼方式が選ばれる。 ・燃やさないものが灰として残ります。 ・溶融してできるスラグの資源化が可能。 ・有効利用されていないケースがある。
炭化方式	ガス化溶融よりさらに空気の量を少なくすることで、ごみを燃やさずにごみ、可燃性ガスと灰に分解し、灰を資源として使えるようになります。	・残渣の発生量が少なく、埋立処分量を減らすことができます。 ・炭やアルミを燃やさない状態で回収でき、資源化が容易。 ・炭化物の利用が進んでいないケースがある。 ・燃焼効率が少ない。

ニコニコボックス

12月13日

林裕藏・照子様 本日は御招待いただきまして誠にありがとうございました。今後、益々の御発展とメンバーの皆様の御多幸をお祈り申し上げます。

小野 仁 御家族の皆様、ようこそいらっしやいました。

中嶋孝一・中村文明・平沢清文・小口泰史・瀬戸雅三・太田博久(親睦委員会) 本日のチャリティー親睦家族忘年会には大勢の皆様にご参加いただきありがとうございます。

井上保子・牛山幸一・梅垣和彦・大橋正明・尾関秀雄・笠原祥一・笠原新太郎・北澤洋之介・小松正二・佐藤有司・白鳥修次・高木昭好・武井利夫・竹村一幸・塚田保則・濱 透・濱 俊弘・林広一郎・林 尚孝・林 裕彦・林 靖高・原 史郎・宮坂 伸・宮坂宥洪・宮坂宥澄・宮澤由己・矢島 進・矢島 實・山岡晴男・山岸邦太郎 今日岡谷ロータリークラブチャリティー親睦家族忘年会！！楽しい時間をみんなで過ごしましょう！！

12月20日

岡谷市長今井竜五様 本日はありがとうございました。

牛山幸一・梅垣和彦・太田博久・小口雅弘・小口泰史・尾関秀雄・小野 仁・笠原新太郎・北澤洋之介・北村正春・小松正二・白鳥修次・杉田隆夫・瀬戸雅三・高木昭好・塚田保則・中嶋孝一・中畑隆一・中村文明・濱 俊弘・林広一郎・林 尚孝・林 裕彦・林 靖高・原 史郎・藤森睦美・宮坂 伸・宮澤由己・矢島 進・矢島 實・山岡晴男・山岡正邦・山岸邦太郎・山崎典夫 今年最後の例会に岡谷市長今井竜五名誉会員を迎え卓話をいただきます。よろしく願いいたします。今年も大変お世話になりました。

笠原新太郎 お陰様で創業87年を迎えることができました。今後とも宜しく願いします。

林 靖高 12月27日が創業記念日です。

林 尚孝 12月1日が創業記念日です。

出席報告

12/13 会員数46名、出席者42名、出席率95.35%、前々回訂正88.64%

12/20 会員数46名、出席者35名、出席率81.40%、前々回訂正81.82%

2011-2012年度RIテーマ
こころの中を見つめよう
博愛を広げるために
Reach Within to Embrace Humanity

